

平成29年度公益社団法人本巢市シルバー人材センター事業報告

1 概要

近年における雇用体系の変化等により、シルバー人材センター事業を取り巻く環境は厳しいものがあります。

このような状況にあつて、受託事業による契約金額は昨年並み、また、労働者派遣事業による契約金額は昨年比207%と大幅な増加となりました。

しかしながら、会員減少は依然として続いている状況にあります。

これらを踏まえ、会員の就業の場の確保や、公共及び民間事業所における労働者派遣事業を中心とした事業展開を積極的に推進し、経営基盤の安定を図るとともに、事業の拡大と会員の増加を今後の課題とします。

2 主な事業実績

平成29年度の主な事業実績は、次のとおりとなりました。

① 会員数	311 名	(目標	340 名)
② 受注件数	1,289 件	(目標	1,200 件)
③ 配分金金額	96,235 千円	(目標	96,000 千円)
④ 派遣賃金金額	4,836 千円	(目標	2,800 千円)
⑤ 就業延人員	28,808 人・日	(目標	29,100 人・日)
	(一般就業 27,426 人・日	派遣就業	1,382 人・日)

※ 会員数・就業延人員が目標を下回る結果となりました。

3 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の簡易な業務に係る就業機会の提供

公共及び民間事業所においては、厳しい経済状況や派遣事業への切り替え等により契約額が減少しました。

個人においては、高齢者世帯の増加に伴う労働力不足による、除草・剪定及び農作業等の依頼が増加したため、地域の環境整備にも貢献しながら、地域住民に密着した就業の場を提供しました。

公 共	契約金額	42,943 千円	(前年対比	△12 千円)
	就業延人数	9,903 人・日	(前年対比	198 人・日)
民間事業所	契約金額	37,318 千円	(前年対比	△278 千円)
	就業延人数	9,535 人・日	(前年対比	△187 人・日)
個 人	契約金額	36,627 千円	(前年対比	1,281 千円)
	就業延人数	7,988 人・日	(前年対比	588 人・日)

4 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の簡易な業務に係る就業機会の提供

○一般労働者派遣事業

平成24年度より、就業の機会を確保し運営基盤の確立を図るため、シルバー派遣事業・本巢市事務所として事業を展開してきました。

平成29年度の契約金額は、前年度比207%程度の大幅な増加となりました。

契約金額	6,238 千円	(前年対比	3,219 千円)
就業延人数	1,382 人・日	(前年対比	470 人・日)
受取収益	774 千円	(前年対比	411 千円)

5 臨時的かつ短期的な就業又はその他の簡易な業務に係る就業に必要な知識及び技能の付与を目的とした講習

今後益々増大すると思われる高齢者世帯等のニーズに対応するため、必要な技能の講習会等を行いました。

- ① 柿の摘蕾講習会 平成29年5月11日 受講者 42名
- ② 柿の剪定講習会 平成30年1月15日 受講者 39名

6 事業推進のための諸活動、及びその他の社会参加活動を推進するための諸活動

(1) 普及啓発

本センターのホームページにより、本事業の意義と基本理念及び仕組み等周知するとともに、新規会員の入会促進のため、役職員による声掛けによる勧誘を行いました。

しかしながら、会員数は依然として減少傾向にあります。

① 会員数の動向

事業年度当初の会員数	304名	新加入会員数	33名
事業年度末の会員数	311名	退会会員数	26名
男性 180名 (58%)		女性 131名 (42%)	

② 新入会員 33名 (男性 15名・女性 18名)

入会理由：社会的	9名	(男性 2名・女性 7名)
仲間づくり	15名	(男性 9名・女性 6名)
時間的余裕	6名	(男性 1名・女性 5名)
健康的	3名	(男性 3名・女性 0名)

③ 退会会員 26名 (男性 14名・女性 12名)

退会理由：病气	6名	(男性 5名・女性 1名)
就職	7名	(男性 4名・女性 3名)
死亡	3名	(男性 2名・女性 1名)
家庭事情	1名	(男性 1名・女性 0名)
加齢	5名	(男性 2名・女性 3名)
その他	4名	(男性 0名・女性 4名)

(2) 安全・適正就業の推進

① 安全就業

会員の安全確保及び賠償事故防止は最優先事項であり、次のような事業等を実施し、組織を挙げて推進しました。

- a 安全適正就業委員等による安全パトロールの実施
- b 高所作業者に対するヘルメットの無償貸与
- c 地域職群班班長による顧客との事前打合せ、作業中の安全確認等の実施

しかしながら、次のような傷害・賠償事故が発生しました。

傷害事故

事故発生日	事故内容	年齢	性別	程度
H29.8.21	除草中水路に転落し左耳を負傷	64	男性	通院5日
H30.3.7	除草・清掃中転倒し左まゆ付近を負傷	76	男性	通院8日

前年度傷害事故8件

賠償事故

事故発生日	事故内容
H29.7.13	・自走式草刈り機で作業中、散水栓ボックスに乗ったため蓋を破損
H29.11.21	・庭木の剪定作業で剪定くずの清掃作業中、熊手が当り縁側ガラスを破損

前年度賠償事故4件

② 適正就業

公益社団法人として、法令遵守は当然であり、適正な就業に努めました。

(3) 就業分野の開拓・拡大

ホームページ等による事業の紹介、職員による事業所訪問等により事業拡大を推進しましたが、厳しい経済状況等により民間事業所の契約は減少となりました。

しかし、個人の契約は増加しています。

会員の親切で丁寧な仕事等により個人からの依頼が拡大したと考えます。

(4) 相談、情報提供

入会を希望する人に対しては、職員が随時個別に対応し、経験、希望職種等を聞き、適切な情報を提供しました。

また、地域住民からの仕事の依頼についても職員が随時相談にのり、可能な限り依頼者の希望に合うように努力するなどの適切な対応を図りました。